

# 学校完全週5日制

## 4月いよいよスタート

平成十四年四月一日、毎週土曜日を休みとする「学校完全週5日制」が全国すべての学校で始まります。子どもたちの学校外での時間が増え、家庭や地域での教育の機会がこれまで以上に重要になります。学校の授業も、ゆとりの中で、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育てるために、教育の内容が変わります。今月号では、いよいよ四月にスタートする学校完全週5日制の内容について簡単にお知らせします。

### なぜ、なるの？ 完全学校週5日制

学校完全週5日制で、毎週土曜日が休日！ 子どもたちにとってはとてもうれしいニュースです。なんとといっても、休みの日は、家庭や地域で学校の授業とは全然違うことを体験したり、自分の好きなことを思い切りしたりする絶好のチャンスです。

「休日が増えたら勉強の時間が減って、子どもたちの学力が落ちてしまうのでは」と心配する大人たちもいますが、子どもたちの学びの時間は年中無休です。学校の授業だけではなく、家庭や地域で過ごす時間も、そこでの活動や体験を通して、子どもたちはさまざまなことを学んでいるのです。



毎週土曜日の休みには、「思い切り遊ぶ」と、どの子どもも楽しみにしている様子。昼休み時間、雪の校庭で笑顔いっぱいの子供たち(2歳)

子どもたちは、それぞれの教科の知識だけではなく、生活の中で必要なルールや思いやり、やさしさといった内面的なものも学ばなければなりません。道徳観や正義感などは、家庭や地域社会での活動や体験が豊かであるほどしっかりと身につけていきます。

### 子どもたちの 生きる力を育てる

学校完全週5日制は、子どもたちが豊かな体験によって豊かな心を育めるよう、家庭や地域社会でのさまざまな体験活動などの機会をもっと増やしていくというものです。そして、学校、家庭、地域社会が互いに協力し、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育むことをねらいとしています。

#### 生きる力とは

子どもが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力

自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力

### 学校の授業は どう変わるの？

学校完全週5日制になって、土曜日の休みが増えた分、学校での授業時間はこれまでより週当たり二単位の時間少なくなりませんが、授業の内容はどうなるのでしょうか。

文部科学省が、学校・学年ごとに教えるべき内容を定めた

### 新学習指導要領のポイント

豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する

自ら学び、自ら考える力を育成する

ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する

各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める

新しい学習指導要領等は、幼稚園では平成12年度からスタートしており、この4月からは小学校・中学校でも全面实施されます（高等学校は平成15年度入学生から実施。盲学校・聾学校・養護学校ではそれぞれの学校段階に実施されます）。

「学校指導要領」も学校完全週5日制に併せて改訂されています。新しい学校指導要領では、すべての子どもが共通に学ぶ内容は社会生活を営むうえで必要とされる基礎的・基本的な内容に厳選、ゆとりの中で子どもたちに「生きる力」を育成することを基本的なねらいとし、左表のような四つのポイントを重視した教育内容に変わります。

### 体験的な学習や 問題解決的な学習重視

子どもたちが社会の変化に対応し、たくましく生きていくためには、教科書で学んだ知識を用いて自ら学び、自ら考える力が必要です。そうした力を育むために、体

験的な学習や問題解決的な学習を重視し、総合的な学習の時間を新設します。総合的な学習の時間では、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開します。